

奈良市PTA連合会 令和4年度『みんなで学べる研修会』

先生たちのハッピーが 子どもたちの笑顔につながる。



2023年1月20日

妹尾 昌俊

教育研究家
一般社団法人ライフ&ワーク 代表理事

senoom879@gmail.com
<https://senoom.jimdofree.com/>

参加されるみなさまへ



- このたびはお声がけいただき、ありがとうございます。
- ぼくの講演、研修は、一方通行的ではなく、なるべくみなさんとともに考えて、対話などする時間も大切にしています。
ときどき、少しご自身の考えやアイデアをメモしていただくことをオススメします。
- 正解は1つとはかぎらないし、なにが正解か分らない。まさにそんな日々を送っているのではないのでしょうか。この研修もそういう性格のものになりますし、妹尾の解説にはない視点や考え方も歓迎です。ぜひ多面的で、複眼的なものの見方を大切にしていただければ、と思います。
- この研修、講演は「それなりに参考になる話が聞けたな」という程度で終わることをねらっておりません。ぜひ何か小さなことからでも、みなさんの行動、活動につながればと願っています。

妹尾昌俊

妹尾は何者？（ちょっと自己紹介）



■5児の父

- 長男(高3)、長女(高1)、次女(中2)、次男(小5)、三男(2歳、保育園)
- すべて公立学校・園。教育改革や学校改善の影響をもろに受ける、当事者でもあります。

■現場大好きな研修講師、アドバイザー、コンサルタント

- コロナ前までは、教職員や教育委員会職員とたくさん飲みに行っていた。
多いときは年間100回以上講演・研修(校長・教頭研修、校内研修の支援等)。
- 2016年から独立し、起業。教育長や校長の相談にのっています。
学校業務改善アドバイザー(文科省委嘱のほか、埼玉県、横浜市、熊本県等多数)。
- 中教審・働き方改革部会委員、スポーツ庁・部活動ガイドライン委員等も歴任。

■メディア、情報生産者

- 著書10冊、『教師崩壊』、『こうすれば、学校は変わる!「忙しいのは当たり前」への挑戦』、『教師と学校の失敗学:なぜ変化に対応できないのか』、『変わる学校、変わらない学校』等。
- Yahoo!ニュース個人、東洋経済オンライン、教職研修、教育新聞等に多数寄稿。

■趣味:歴史もの(日本の戦国時代や古代ローマの史跡めぐりなど)、ガンダム好き

【妹尾の著書の紹介】本を読むのも、書くのも好きです！



ぼくの原点。
元気な学校は何が
ちがうのか。



ビジョンは思った以上に浸透して
いない。
学校の戦略づくりとコミュニケー
ションを考える。



ケースメソッド方式で
モチベーションや業務改善につ
いて、とても具体的に考えられる
一冊。



わくわくする学校事務に挑戦
する6人のプロたちの仕事へ
の姿勢や仕事術を分析。事務
職員の学校運営への参画を
具体的に考えていける本。



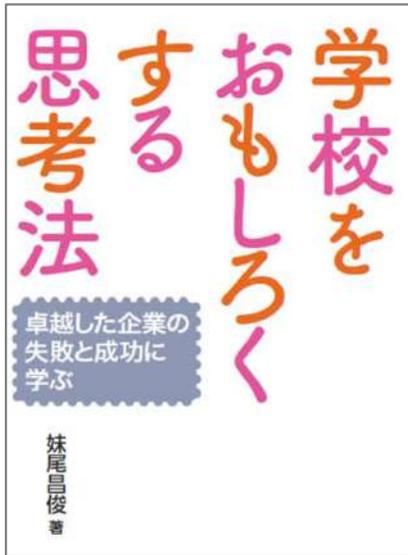
多忙の実態を豊富なデ
ータで解説。
働き方改革の基本方針
と具体策を提案。



働き方改革の教科書。
学校や教育委員会が行
うべきこと、中教審答申
とその前後の最新動向
を踏まえて解説。

典型的なマズイ事例に
陥らないために、どうす
るか、5大原則を演習問
題付きで解説。

本、増えました！



企業や行政、イノベーターたちの失敗と成功から、学校や教育行政は何を学べるか。Google、セブンイレブン、スタバ、佐賀県庁など様々な事例を分析。



教師不足、過重労働、社会からの信頼低下など、5つの危機、ティーチャーズ・クライシスを解説。

採用倍率低下は本当に問題なのかなど、データをもとに深層に迫る。



コロナ危機下での学校運営と教育政策の重要課題とその背景を分析。

休校中の対応、夏休み短縮、時数確保の重視などが子ども本位で進められてきたかを検証し、今後に向けたビジョンを示す。



2022年8月
New

ちょっとしたクイズです。これは何の数字でしょうか？

1)

6分

8分

2)

41%

(公立小学校教諭)

奈良市の概況 (市教委提供資料)

令和3年度 市立学校の教職員の勤務時間外残業時間について

	月平均時間	45時間超の 教職員の割合	学校数	教職員数
小学校	31時間56分	23.9%	43校	約1100人
中学校	48時間25分	47.2%	21校	約600人

※タイムレコーダーの記録より算出（非常勤等除く）

日教組調査(各年の1学期の状況)によると、
小学校や中学校での労働時間は依然として多いまま、平均で過労死ラインを超えている。

⑥学校種別にみた教員の1週間の労働時間(週平均 数値は 時間:分)



出所)日教組「2022年 学校現場の働き方改革に関する意識調査」

先生の仕事は過酷過ぎる。

- 過労死ラインを超える人も多いほど、異常な職場である。
- 「膀胱炎が職業病」なくらい、ノンストップ労働である。
- 世間では、週休3日が導入されている企業等も出てきたのに、週休1日あるかないかの学校もある。

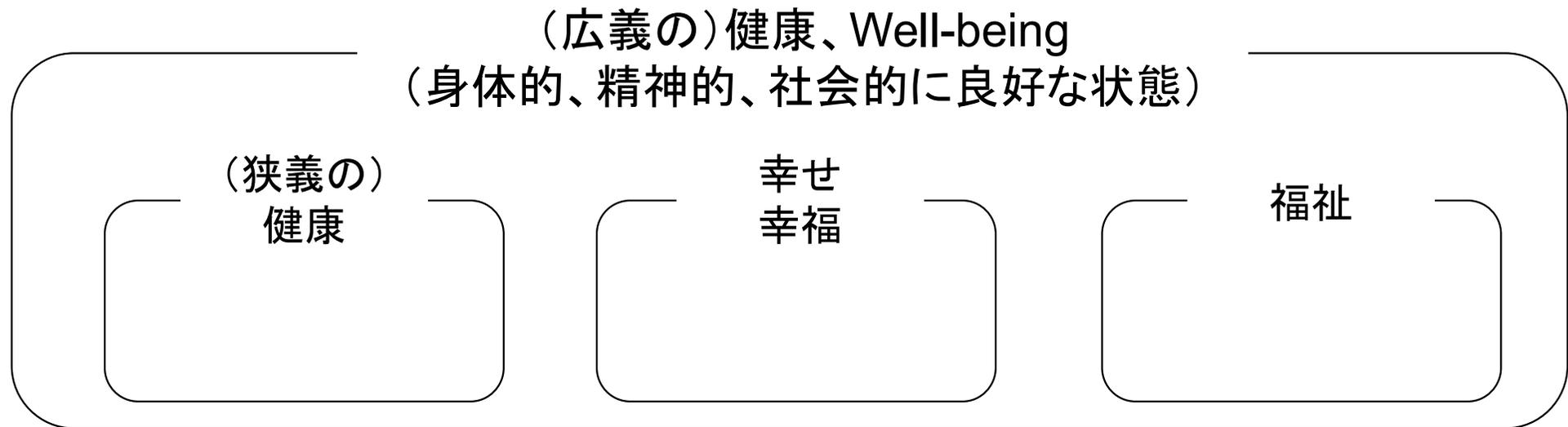
先生たち自身が、自分の子どもや教え子に「教師になることを勧められない」と言っている。

教員不足、講師不足はこの4月から既に深刻。

- この4月から担任が足りず、私が教務主任と2年1組担任を兼務しています。始業式の日、保護者には「講師の配置が遅れており、**当面の間は教務主任が担任を兼務します**」旨のお手紙を配付しました。(関東地方、公立小学校)。
- 4/1で未決定、採用候補者名簿が枯渇し、**定数内教員を産育代の臨時的任用希望者で補充**する状況です。(関東地方)
- 今年度は本来常勤の教諭がつくべきところが**2人見つかりません**。1人は児童8人の特別支援学級の副担任。もう1人は高学年教科担任制加配です。(中国地方、公立小学校)
- 高校の情報の講師が見つからず、**未だ授業の見通しが立ちません**。(関東地方、公立高校)
- 本校も今年度マイナス1のままスタートしております。講師分ですが、**市全体で十数人不足していて取り合っている状態**です。(中部地方、公立小学校)
- 2月、3月は**校長の仕事は、講師探しに明け暮れました**。今年度も年度途中の産休・育休代替が見つかるか不安です。(関東地方、公立特別支援学校)

出所) #教員不足をなくそう緊急アクションの調査(22年4~5月実施)と妹尾のヒアリングをもとに作成。

(参考)ウェルビーイングとは



出所)前野隆司・前野マドカ『ウェルビーイング』日本経済新聞出版p.17をもとに一部加筆修正。

子どもたちのウェルビーイング（心身ともに良好な状態）に関心のある人も多いことでしょう。

でも、教職員が疲れ果てている状態で、児童生徒のウェルビーイングは高まるのでしょうか？

現状を放置できない理由 熱心な先生の相次ぐ過労死

- 石川県野々市立小学校の山口聡美教諭(女性、51歳)は、5クラスある1年生の学年主任を務めていました。2015年の夏以降、担任2人の産休などで残業や自宅での仕事が重なり、土日も学校に行くことがありました。2016年1月20日、校内での研究会中に倒れて意識不明となり、2月3日に亡くなっています(くも膜下出血)。
- 山口先生が亡くなったおよそ8ヵ月後、2016年10月、広島県の公立小学校教諭Aさん(45歳)が、公開研究会当日に倒れました。指導主事による指導助言が始まった頃、Aさんはこめかみのあたりを押さえて、会場を出ました。倒れたのは、その直後のことでした(くも膜下出血)。命はとりとめました。以後、休職状態が続いています。

Aさんは3年生の主任でした。4月当初は2学級でスタートしたのですが、児童増で急ぎょ3学級に。学級再編成などの作業が増えた上に、新たに担任となった臨時採用の職員は担任経験がなく、その指導にも時間を割いていました。

前日の記録 7時 出勤 7時42分～18時56分 勤務 19時40分 帰宅
 19時40分～21時 子どもの世話、夕食など 21時～21時48分 雑務
 21時48分～26時 仕事 26時 就寝 翌日 6時起床、7時出勤



図表1-4 過労死等の発症年齢別人数



図表1-7 過労死等の月別人数



20代、30代の教員の精神疾患は増加。病休⇒欠員補充できない⇒疲弊の悪循環に。

公立学校教員の1ヶ月以上の長期療養者数（休職者を含む） (人)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	増加率 (21年度/16年度)
小学校	精神疾患	3,668	3,889	4,290	4,729	4,691	5,532	1.51
	精神疾患以外	4,134	4,010	3,922	3,861	3,794	4,157	1.01
中学校	精神疾患	2,155	2,268	2,348	2,385	2,292	2,552	1.18
	精神疾患以外	2,003	2,048	2,092	1,947	1,789	1,868	0.93
高校	精神疾患	1,193	1,243	1,309	1,329	1,273	1,356	1.14
	精神疾患以外	1,378	1,453	1,426	1,386	1,317	1,316	0.96
特別支 援学校	精神疾患	1,044	1,054	1,092	1,157	1,143	1,432	1.37
	精神疾患以外	1,198	1,201	1,153	1,153	1,147	1,151	0.96
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	増加率 (21年度/16年度)
20代	精神疾患	1,286	1,576	1,765	1,950	2,140	2,794	1.66
	精神疾患以外	776	852	806	832	884	954	1.14
30代	精神疾患	1,788	2,012	2,302	2,612	2,563	2,859	1.43
	精神疾患以外	2,126	2,019	2,126	2,037	2,062	2,281	0.97
40代	精神疾患	2,024	2,057	2,141	2,229	2,138	2,437	1.06
	精神疾患以外	1,909	1,893	1,757	1,667	1,574	1,580	0.82
50代	精神疾患	2,973	2,825	2,854	2,849	2,611	2,854	0.88
以上	精神疾患以外	3,917	3,962	3,933	3,848	3,574	3,722	0.91
計	精神疾患	8,071	8,470	9,062	9,640	9,452	10,944	1.17
	精神疾患以外	8,728	8,726	8,622	8,384	8,094	8,537	0.93

※在職者に占める精神疾患による長期療養者の比率は、20代で0.91%(16年度)⇒1.87%(21年度)、30代で0.92%⇒1.36%(21年度)

出所)文部科学省「公立学校教職員の人事行政状況調査」(令和3年度ほか)をもとに作成

働き方改革は単なる時短ではない。
教委等から怒られなければOK
という話でもない。

教職員の健康、ウェルビーイングを高めることが重要。これは学校の教育力や児童生徒へも影響する。

みなさんと一緒に考えたいこと



横浜市立学校

教職員の働き方改革プラン

～先生のHappyが子どもの笑顔をつくる～

アンパンマンとドキンちゃん

あなたは、どんな時間を
もっと大切にしたいですか？

長時間労働の影響（忙しい毎日を放置しておけない理由）

大きなところでは3点

1. 教師の健康への影響

- 教師の過労死が相次いでいる。
- 精神疾患患者も毎年約5千人。

2. 教育への影響（児童生徒への影響）

- 心身が疲弊してよい授業にはならない。
- AI(人工知能)等が便利になる時代、教師がクリエイティブに深く思考する時間がなくては、子供たちの思考力や創造性が高まる教育活動にならない。

3. 人材獲得への影響

- “ブラック”な職場のままでは優秀な人材は来ない。
- 既に人材獲得競争の時代。

中央教育審議会答申※において、これまで学校・教師が担ってきた業務について、以下のとおり3つに分類されたところ。各業務に係る役割分担・適正化のために必要な取組の実施状況をフォローアップ。

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間における見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等（事務職員等）</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応（輪番、地域ボランティア等）</p> <p>⑦校内清掃（輪番、地域ボランティア等）</p> <p>⑧部活動（部活動指導員等）</p> <p>※部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応（学級担任と栄養教諭等との連携等）</p> <p>⑩授業準備（補助的業務へのサポートスタッフの参画等）</p> <p>⑪学習評価や成績処理（補助的業務へのサポートスタッフの参画等）</p> <p>⑫学校行事の準備・運営（事務職員等との連携、一部外部委託等）</p> <p>⑬進路指導（事務職員や外部人材との連携・協力等）</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）</p>

基本的には学校以外が担うべき業務

取組内容	★: 実施率が80%以上の項目 ▲: R3調査に比べて5%以上増加している項目		都道府県 (n=47)	政令市 (n=20)	市区町村 (n=1727)	総計 (n=1794)
	①登下校時の対応は、 学校以外の主体 （地方公共団体、教育委員会、保護者、スクールガード・リーダー、地域人材等）が中心に対応している	25.5%	★ 85.0%▲	61.7%	61.0%	
②放課後から夜間等における見回り、児童生徒が補導された時の対応は、 学校以外の主体 （地方公共団体、教育委員会、保護者、地域人材等）が中心に対応している	17.0%	25.0%▲	26.0%	25.8%		
③ 学校徴収金（給食費を含む）の徴収・管理は、教職員が関与しない方法 で徴収・管理又は 地方公共団体や教育委員会 で徴収・管理等を行っている	51.1%▲	40.0%▲	36.0%	36.5%		
内訳	口座振替	100.0%	100.0%	90.4%	90.8%	
	口座振込	29.2%	37.5%	17.8%	18.5%	
	振込用紙での支払い	12.5%	62.5%	17.2%	17.6%	
	QRコード決済サービスでの支払い	0.0%	12.5%	3.4%	3.4%	
	現金徴収	29.2%	25.0%	22.8%	23.1%	
	その他	0.0%	25.0%	4.0%	4.1%	
④ 地域人材等との連絡調整は、窓口となる学校職員が直接行うのではなく、地域学校協働活動推進員（社会教育法第9条の7）等の学校以外の主体 が中心に行うよう、地方公共団体や教育委員会等において必要な取組を実施している	25.5%	65.0%	44.9%▲	44.6%▲		

※各取組について、【a:既に実施した又は実施中】【b:実施に向けて検討中】【c:特に取り組んでいない、取り組む予定はない】【d:学校種の性質上、検討する余地がない】のうち一つを選択しており、そのうち【a:既に実施した又は実施中】を選んだ自治体の割合を「実施率」としている。

よく寄せられるギモン、モヤモヤ①

でも・・・、子どもたちのために、時間をかけて、丁寧に指導したいんです。

- ①それは、本当に必要性や価値の高いことか？自己満足になっていないか？
- ②効果はあっても、マイナスや副作用も大きくないか？
- ③別のやり方、方法もあるのではないか？

よく寄せられるギモン、モヤモヤ②

保護者からの声が心配です。

“学校、先生は冷たくなった。

去年まではもっとやってくれたのに。

子どもたちのために頑張ってくれないの？”

①本当に何が子どものためになるのか？

(子どものためになることなら、多くの保護者も理解、納得してくれるはず。)

②本当に保護者の大勢がそう思っているか、思いそうか？

③保護者に学校の勤務実態や問題を率直に伝えてるか？

よく寄せられるギモン、モヤモヤ③

会議の精選、行事の見直しなど、学校で
できることはやり尽くしたと思います。

教員数が増えない限り、これ以上無理です！

川口市立前川小学校では、現金集金でもなく、口座振替でもない、
第3の選択肢を検討。エンペイという決済アプリを導入。

保護者に対する毎月のあらゆる料金徴収の負担がこれで解決！



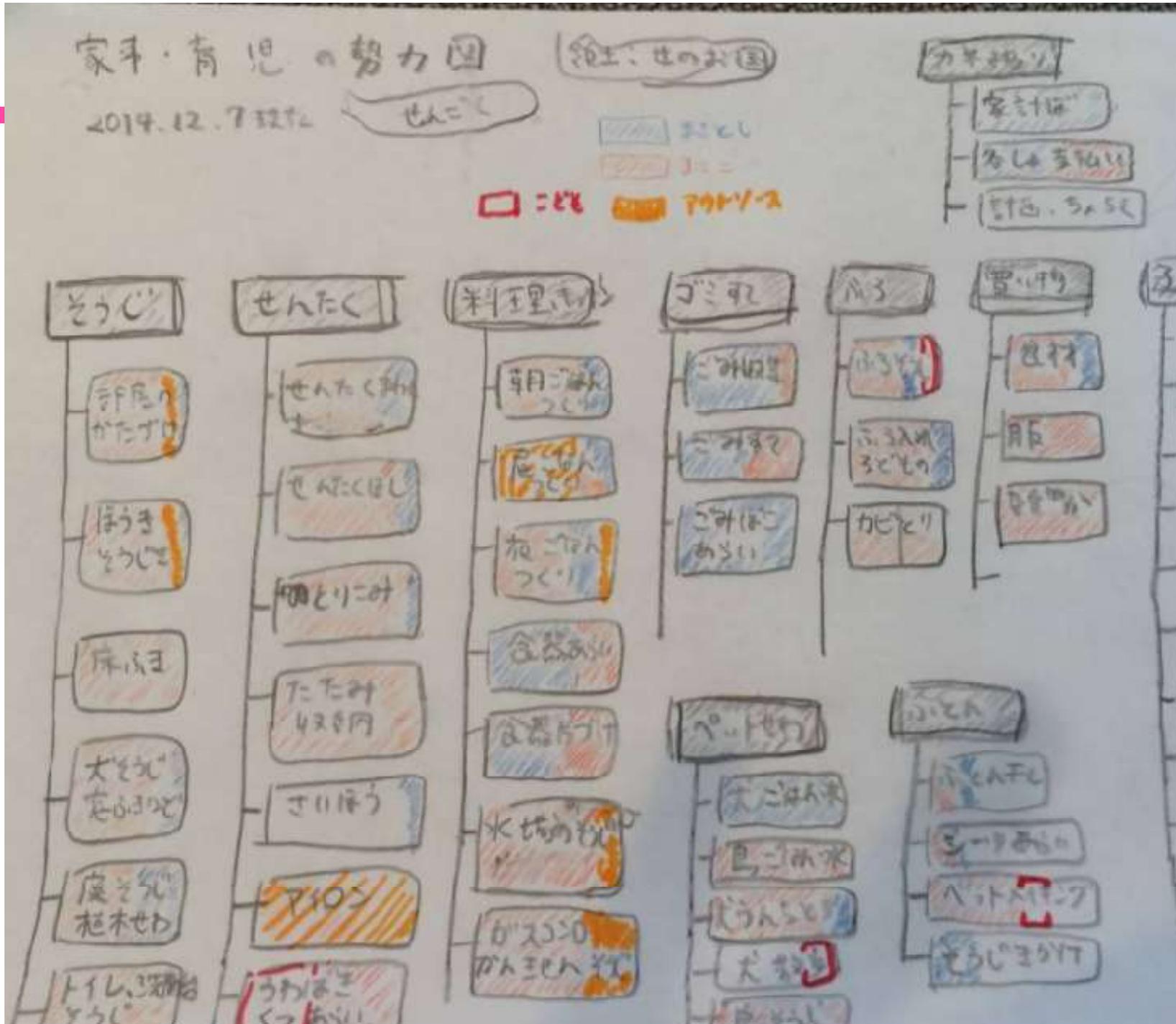
支払方法



エンペイは、現金をやり取りすることなく、請求・お支払いができる、
子ども関連施設に特化した集金・決済業務支援サービスです。

保護者は普段から使い慣れたLINEに請求の通知が届き、その場で瞬時にお支払いいただけます。

業務改善の基本のキ 業務を洗い出し、必要性や分担を見直す



きょうの研修を踏まえて、
あなたが挑戦したいことは？

妹尾の活動など詳しい紹介はこちら

<https://senoom.jimdofree.com/>

妹尾昌俊 元気な学校づくり



Masatoshi Senoo Life & Work

ホーム お問い合わせ

プロフィール 著書紹介 講演・研修について 研修動画 ニュース解説

妹尾 昌俊 ライフ&ワーク代表
元気な学校づくりラボ

元気な学校と地域づくり

妹尾昌俊（せのおまさとし）のウェブサイトによるこそ！

日本中に元気な学校と地域を増やすため、
すぐれた実践をわかりやすく翻訳し、
先生や関係者がともに学び、成長できる場をつくることを
志（マイミッション）として日々活動しています。



主な著書紹介

今まで執筆した書籍の紹介です。
主な著書に『変わる学校、変わらない学校』、『教師の思考法』、『学校をおもしろくする』



講演・研修について

日本中に元気な学校と地域を増やすために、講演、研修、教材、アドバイス等で全国各地の学校、行政を訪問しています。



YAHOO!ニュース解説

Yahoo!ニュースオナーサーとして、教育問題などの最新情報をなるべくわかりやすく、定期的に解説したいと思っています。